

6 月 度 例 会 山 行 報 告 書		報告者	三矢十三世	参 加 メンバ-	C L 塚本 英吾 油井 武 青山 武 三矢 十三世
個人		報告日	7月2日		
山 域	南・北アルプス	山 行 日	10年 6月7日(月) ~		
山 名	守屋山・有明山		6月8日(火)		

山行目的	信濃富士を登る	コースタイム(天候:天気図記号)
------	---------	------------------

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



6/7 晴れのち曇り	6/8 曇り
6:05 刈谷発	8:10 登山口駐車場発
9:52 守屋山登山口発	11:30 北岳着
11:05 守屋山東峰着	11:35 中岳着
11:42 守屋山西峰着	11:43 南岳着
12:00 西峰発	11:55 中岳へ戻る
13:20 登山口駐車場着	12:15 中岳発
	14:36 登山口駐車場着

山行報告 一日目お天気はまずまず勿論渋滞もなくすんなり杖突峠を登りきった所の登山口へ、からまつ林の登山道はしっかりして登りやすい。しかし、ハルゼミのうるさいこと。逃げるように油井さんと青山さんのピッチの早いこと、見る花もなく、鳥の声も聞けなければ歩くしかないが守屋神社の鳥居をくぐるあたりから静かになり少しずつ展望がきくようになる。東峰にて昼食、360度の展望が望めるはずが中央アルプス、霧が峰、車山から八ヶ岳、南アルプスは、甲斐駒、仙丈岳と北岳は、まだしっかり雪をかむった美しい姿を見せてくれたのはうれしかった、北アルプスはなんとか槍ヶ岳まで望め満足。帰路駐車場近くにヒトツバタゴの花がみごとに咲いていました。諏訪のICから豊科ICへて中房温泉有明荘にて一泊。宿は元国民宿舎であったが現在は町営になっているが食事はとてもおいしかった。翌朝、宿近くの滝前登山口出発すぐきつい登りになるがピンクのシャクナゲの花と鳥の鳴き声に助けられさほど苦にならず、鎖場、ロープとかなりの急登だが足場はしっかりしているので問題なく楽しめる。尾根筋に出ても鳥の声は聞こえアルプス銀座も間近に見える、北岳山頂にもシャクナゲの木はあるが花はまだまだのようだ。イチリンソウ、オオバミソホウズキ、モミジカラマツ、ツクバネソウ、イワカガミなどの花ばなど、たる沢滝とすべて大満足の登山でした。油井さんが作られた句をここにご紹介します。

行くほどに 雲晴れ渡り 薄日さし 八つの全山 姿なつかし
 守屋山 姿見えねど 蝉しぐれ じいじでもなく ばあばでもなく
 守屋山 頂に立ち ながむれば 北に南に 八つに中央
 たる沢の 滝のしづきに 見送られ ポレポレ登る 有明山路
 鎖場を 過ぎてうぐいす お出迎え じゅかんに開く 燕の峰
 白い花 草の名前が おぼろ月 友のヒントに チンとグルマで
 リーダー所見 一等三角点のある峰。周囲の峰々が手に取る様な守屋山山頂、杖突峠よりわずか1時間チョイで絶景の世界に置く事が出来る。これに反し有明山は急登の連続で思う様に足が前に出ず、苦しい中4時間程かけ頂につくが生憎の曇り空で、周囲の景色は見えず残念であった、老人4人は元気はつらつ山行を終え、中房の温泉につかり次の山に向け花を咲かせた。



確認
(リーダー)
塚
10/7/2
本
作成
(報告者)
三
10/7/2
矢